

平成20年度 津山市立北学校 学校評価(自己・学校関係者)評価書

学校長 神田 真一 学校関係者評価委員 日笠 完治 赤木 正子 津田 幸保 竹本 秀彰 平井 久江 河部 一仁	自己評価総合所見 ・評価基準を選ぶ根拠は、児童アンケート・保護者アンケート・学校での単元テストと学力テスト及び全国学力・学習状況調査のアセスメントテスト・学校自己評価から分析判断した。 ・全体として、概ね評価基準を達成できた結果となっている。 ・評価領域「2学習活動」において、本校での単元テストの結果とアセスメントテストとの結果に相違があることが課題。 ・評価領域「3生徒指導」において、あいさつ・服装・言葉遣い等の課題改善に取り組みながらも、期待値7.5割が達成できなかったことが課題。次年度への工夫が重要。 ・評価領域「7施設・設備・環境整備」において、教育環境づくりの取り組みが施設の老朽化もあり、達成の困難さが大きいことが課題となっている。
--	--

評価領域	自己評価				学校関係者評価			
	評価項目	評価指標	評価基準	評価データ	評価(自己)	結果の分析及び改善方策等	評価(学関係者)	自己評価に対する意見等
1 教育目標・教育課程	児童・地域の実態に合った教育課程の編成	前年度評価を踏まえた教育課程の編成	4 実態や目標に合っている 3 ほぼ合っている 2 少し改善が必要 1 改善を要す	学校自己評価	3	8 教育課程全般 50 全体計画や指導計画に基づいて実践や計画がなされた。(2.9)	B	記名でのアンケートでは極端な意見が出にくいだろうが、まあ、妥当な評価ではないか。
	授業時数の確保による学習機会の確保	標準授業時数の確実な実施	4 実施率が100%超 3 実施率がほぼ100% 2 実施率100%未満が1教科だけ 1 実施率100%未満が2教科以上	実施時間数調査	2	津山市教委実施時間数調査平成20年12月まで 3・4年図工が100%未満【改善策等】 ・3学期の美術展に向けた取り組みで、意図的な時間調整をしていたため。	B	3学期に調整することを確認し、年間ではほぼ100%なら、評価は「3」でもよいのでは。
	グランドデザインを基にした教育実践の推進(2年次)	学校・家庭・地域連携の連携による北小児童の育成	4 学校全体として、各領域がバランスよく推進されはじめている 3 ある程度の分野で推進され始めている 2 部分的に推進され始めている 1 今少し推進が図られているとはいえない	保護者アンケート	3	・学校 16 学校は、グランドデザインに示したように、家庭・地域との連携に努力している。(3.2)	C	評価が難しい。保護者アンケートでは、全体的にできているかを問う文面で、質問が適切であったか疑問が残る。
2 学習指導	基礎基本の定着と主体的に学習する児童の育成	わかると感じている児童の割合	4 80%以上 3 70%以上 2 60%以上 1 60%未満	子どもアンケート	4	学習(中・高学年) 先生の教え方がわかりやすいと感じている。(3.5) 大変よくわかる・わかるの割合(高86.2%、中94.5%)	B	保護者アンケートでも高い評価を得られており、評価データに保護者アンケートを含めてはどうか。
2 学習指導	基礎基本の定着と主体的に学習する児童の育成	主体的に学習する場面(思考・学び合い・ノート活用・辞書活用・発表等)の設定	4 常に取り入れている 3 かなり取り入れている 2 ある程度取り入れている 1 あまり取り入れていない	学校自己評価	3	2 豊かな学びを創造するために「わかった・できた」の授業づくり 8 主体的に活動する場面を多く取り入れた。(2.9)	C	現場でないと分からない。職員がそう思っているなら、子どもや保護者アンケートからはわからない。外からは見えにくい。
		「自分から進んで学習に取り組んでいる」と感じている児童の割合	4 70%以上 3 60%以上 2 40%以上 1 40%未満	子どもアンケート	4	学習(中・高学年) 自分から進んで勉強している。(3.1) 大変よく取り組んでいる・よく取り組んでいるの割合(高72.4%、中87.0%)	C	評価基準の値が他の項目と違う、理由も明確ではないため、作為的な感じを受ける。基準に統一性を持たせる方がよい。
		当該学年の国語単元末テストで80点以上できる児童の割合	4 85%以上 3 75%～85% 2 65%～75% 1 65%未満	単元テスト結果	3	第2学期国語科単元テスト 80点以上の割合(80.6%) 通過率平均(86.3%)	B	単元テストの結果からの評価として妥当。この項目も基準に統一性を持たせる方がよいのでは。
		当該学年の算数単元末テストで80点以上できる児童の割合	4 85%以上 3 75%～85% 2 65%～75% 1 65%未満	単元テスト結果	4	第2学期算数科単元テスト 80点以上の割合(93.0%) 通過率平均(91.3%)	B	単元テストの結果からの評価として妥当。この項目も基準に統一性を持たせる方がよいのでは。
		全国及び校内学力テスト通過率の全体平均の状況	4 基礎的及び発展的な問題について、国及び県を上回った 3 国及び県とほぼ同様 2 国及び県をやや下回った 1 国及び県を大きく下回った	学力調査結果	2	3年・5年の学力テスト並びに6年の全国学力・学習状況調査では、いずれも全国平均をやや下回る結果となった。 【改善策等】本校の単元テストとの相違が大。次年度に向けた単元評価のあり方に改善策が必要。	B	単元テストの結果とのギャップがある。全国学力状況調査の方が単元テストより、通過率が低い結果になっている。学力向上に取り組むためには、通過率平均の比較だけでなく、分布や難易度、偏差などをよく調べて見る必要があるのでは。
3 生徒指導等	積極的な生徒指導・心に寄り添う教育相談・人権教育や道徳教育の充実による豊かな心の育成	あいさつ・帽子・名札・服装・チャーム・廊下歩行・話を聞く態度・言葉遣い等、今年度期待値7.5割に対する児童の変容実態	4 期待値を上回っている 3 ほぼ期待値である 2 期待値を下回っている 1 かなり下回っている	学校自己評価	2	13 子どもの様子(変容実態平均2.7) 期待値割合68.3% 【改善策等】 ・あいさつ運動等の継続、生徒指導キャンペーン等で改善は進んできている。次年度に向けてあと一工夫が必要。	A	妥当な評価であろう。改善状況が目に見えてはかれない取り組みだが、直向きの継続が大切な教育活動。今後も継続して取り組んでもらいたい。
3 生徒指導	積極的な生徒指導・心に寄り添う教育相談・人権教育や道徳教育の充実	保護者教育相談日・児童ひだまりデーの各月1回実施、日常の情報交換による早期生徒指導委員会の開催と早期解決	4 かなり成果をあげている 3 成果をあげている 2 あまり成果がない 1 ほとんどできていない	学校自己評価	3	14 学校全体に関わって 7 生徒指導委員会や児童支援体制が機能している(3.0)	B	学校自己評価の評価基準に則っているものであればよい。学校関係者評価委員としては、他にデータがないので、それ以上は言えない。

指導等	「道徳教育の充実」による豊かな心の育成	体験活動や心に響く道徳教育・人権教育の充実	4 計画以上に実施している 3 計画的に実施している 2 あまり計画的でないが実施している 1 充分でない	学校自己評価	3	14 学校全体に関わって 2 体験活動や心に響く道徳教育、人権教育の充実に努めている。(3.0)	B	学校自己評価の評価規準に則っているものであればよい。学校関係者評価委員としては、他にデータがないので、それ以上は言えない。
4 学校行事・特別活動等	学校行事や特別活動を遂行することによる充実感・成長感と自己肯定感の獲得	主体性や協力性・リーダーシップを育む行事や活動の実施・場の設定	4 場の設定に心がけ、かなり成果が見られる 3 場の設定に心がけ、ある程度の成果が見られる 2 場の設定に心がけ、少し成果が見られる 1 場の設定に心がけたが、成果が見られない	学校自己評価	3	4 子どもの主体性を育むために自ら行動する児童の育成 27～30の平均値(2.8)	B	学校自己評価の評価規準に則っているものであればよい。学校関係者評価委員としては、他にデータがないので、それ以上は言えない。
5 特別支援・児童支援	一人一人に合った支援体制の充実	校内特別児童支援体制・児童支援体制の実績	4 可能な限り支援できている 3 概ね支援できている 2 少し支援できている 1 ほとんど支援できていない	学校自己評価	3	3 豊かな心を育むために「思いやり」のある児童の育成 22 一人一人が大切にされる集団づくりをした。(3.1) 14 学校全体に関わって 8 特別支援教育体制が機能している。(3.0)	B	学校自己評価の評価規準に則っているものであればよい。学校関係者評価委員としては、他にデータがないので、それ以上は言えない。
6 体保力健 づ安く全 り	行事等を生かした取り組みによる保健安全や体力づくりの意識向上	保健・安全意識の向上啓発	4 十分指導できている 3 指導できている 2 少し指導が不足している 1 指導が不足している	学校自己評価	3	6 命を守り育てるために「健康・安全」な生活を送る児童の育成 36～39の平均値(2.9)	B	学校自己評価の評価規準に則っているものであればよい。学校関係者評価委員としては、他にデータがないので、それ以上は言えない。
6 保健安全・体力づくり	行事等を生かした取り組みによる保健安全や体力づくりの意識向上	避難訓練のレベルアップ	4 工夫改善して実施している 3 改善して実施している 2 少し改善して実施している 1 昨年どおり実施している	学校自己評価	3	6 命を守り育てるために「健康・安全」な生活を送る児童の育成 41～42の平均値(3.0)	B	学校自己評価の評価規準に則っているものであればよい。学校関係者評価委員としては、他にデータがないので、それ以上は言えない。
		体力・運動能力の向上啓発	4 工夫して取り組んでいる 3 取り組んでいる 2 あまり取り組めていない 1 取り組めていない	学校自己評価	3	14 学校全体に関わって 3 児童の体力・運動能力向上に努めている。(3.1)	B	学校自己評価の評価規準に則っているものであればよい。学校関係者評価委員としては、他にデータがないので、それ以上は言えない。
		食育推進	4 工夫して取り組めた 3 取り組んでいる 2 あまり取り組めていない 1 取り組めていない	学校自己評価	3	14 学校全体に関わって 4 本校「食に関する指導の全体計画」に基づき、食育の推進に努めている。(2.7)	B	学校自己評価の評価規準に則っているものであればよい。学校関係者評価委員としては、他にデータがないので、それ以上は言えない。
7 施設・設備・環境整備	施設設備の安全確保と学習環境の整備	安全点検の実施と修理修繕	4 上天した安全点検ができている 3 適切な安全点検ができている 2 安全点検がマンネリ化している 1 効果的な安全点検ができている	学校自己評価	3	6 命を守り育てるために「健康・安全」な生活を送る児童の育成 40 安全な生活環境をつくるために、定期的に安全点検を行った。(3.1)	B	学校自己評価の評価規準に則っているものであればよい。学校関係者評価委員としては、他にデータがないので、それ以上は言えない。
		安全に配慮した環境改善	4 十分改善されている 3 改善されている 2 概ね改善されている 1 改善が進んでいない	学校自己評価	3	12 設備 76 平素より適切に修繕ができた。(2.6)	B	学校自己評価の評価規準に則っているものであればよい。学校関係者評価委員としては、他にデータがないので、それ以上は言えない。
		美しく気持ちのよい教育環境づくり	4 よく努めている 3 努めている 2 あまりできていない 1 できていない	学校自己評価	2	12 設備 75 校舎内外の環境整備が進んだ。(2.5) 【改善策等】 ・教育環境づくりでは、徹底した清掃美化に取り組むことが必要。ただ、施設の老朽化で努力が実らないケースもある。根本的な施設改善も必要。	B	学校自己評価の評価規準に則っているものであればよい。学校関係者評価委員としては、他にデータがないので、それ以上は言えない。
8 保護者・	家庭・地域との連携を図る情報発信	学校の思いや児童の様子を伝える通信や、家庭教育への啓発及び発信	4 家庭や地域の方が学校の姿や思いがわかるような発信に努めている 3 連携につながる発信に努めている 2 発信の内容や方法をもう少し工夫する必要がある 1 効果的な発信ができていない	学校自己評価	3	7 家庭・地域・PTAとの教育連携のために 43～46の平均値(2.9)	B	学校自己評価の評価規準に則っているものであればよい。学校関係者評価委員としては、他にデータがないので、それ以上は言えない。
		児童の安全確保の取組状況	4 連携がよくでき安全確保が図れている 3 概ね連携できていて安全が確保できている 2 今一つ連携がとれず、効果的な安全確保となっていない 1 連携がとれてなく、安全確保が図れていない	保護者アンケート	3	・学校 13 学校は、子どもの安全や事故防止に配慮している。(3.4)	C	だいたいできているのであろう。平均で「4」は不可能ではないが、「3.4」なら満点でもよいのでは。ほぼ、学校自己評価、保護者アンケートと同じような評価だった。ここでも評価基準の見直しを考えたらいかがか。

地域との連携	と家庭・地域からの学校への支援状況	家庭・地域の学校への協力支援の状況	4 積極的な家庭・地域の協力及び支援がある 3 家庭・地域の協力及び支援がある 2 家庭・地域の協力及び支援が増えてきている 1 協力及び支援がまだ不足している	保護者アンケート	3	・家庭 1 学校の教育方針や活動内容について関心をもち、理解しようと努めている。(3.3)	C	だいたいできているのであろう。平均で「4」は不可能ではないが、「3.4」なら満点でもよいのでは。ほぼ、学校自己評価、保護者アンケートと同じような評価だった。ここでも評価基準の見直しを考えたいかがか。
		説明責任と連携	4 学校は、家庭・地域と強力な連携を図るための説明責任を果たしている 3 説明責任を果たそうとする姿勢が見える 2 説明責任を果たせていない 1 説明の内容がわからないことが多い	保護者アンケート	3	・学校 1 学校は、教育方針を分かりやすく伝えている。(3.2)	C	だいたいできているのであろう。平均で「4」は不可能ではないが、「3.4」なら満点でもよいのでは。ほぼ、学校自己評価、保護者アンケートと同じような評価だった。ここでも評価基準の見直しを考えたいかがか。
9 組織運営	働きがいのある職場づくり	職務への取組の姿勢	4 職員は自分の分掌に積極的に取り組んで、資質能力向上によく努めている 3 責任をもって取り組み、資質能力の向上に努めている 2 もう少し積極的に取り組む必要がある 1 自己の資質能力の向上に積極的でない	学校自己評価	3	10 校務分掌 60 学校教育目標を踏まえ、分掌の仕事を計画的に遂行できた。(2.9)	B	学校自己評価の評価基準に則っているものであればよい。学校関係者評価委員としては、他にデータがないので、それ以上は言えない。
		学校運営や教育活動の協働体制	4 よく取れている 3 概ね取れている 2 もう少し協働の意識をもつ必要がある 1 あまり協働できていない	学校自己評価	3	10 校務分掌 61 職員相互の連絡調整ができている。(2.6) 11 会議・事務・勤務 74 職員の連携がよくとれた。(2.6)	B	学校自己評価の評価基準に則っているものであればよい。学校関係者評価委員としては、他にデータがないので、それ以上は言えない。
10 情報管理	個人情報の保護	危機管理対応としての個人情報保護の取り組み状況	4 情報管理・情報モラル等校内ガイドラインやセキュリティーポリシーが作成されている 3 コンピュータにはユーザーIDやパスワードの設定がある 2 個人情報は、コンピュータ本体に残さないようにしている 1 成績等の個人情報は、金庫に補充する等厳重な管理がなされている	学校自己評価	3	14 学校全体に関わって 9 情報の管理・保護に努めている。(文書・メモリー等)(2.7) 【改善策等】 ・情報管理、情報モラル等校内のガイドラインやセキュリティーポリシーも作成されているので、自己評価は「4」でもよいところだが、まだ、実質的に機能していない面もあるため、「2.7」の自己評価となっている。	B	ウィルス対策が問題。持ち帰ったメモリーにウィルスを付けたままにしない対策をしてほしい。学校のネットワークにつなぐ時のチェック体制が大切。自己管理させないシステムがよい。

学校関係者評価 総合所見	<p>学校関係者評価の評価基準としては次のように示している。</p> <p>A - 適切な自己評価ができている B - 概ね適切な自己評価ができている C - 自己評価の判断がやや適切でない D - 適切な自己評価できていない</p> <p>学校は全体的によく努力していると自己評価を見て感じた。 安全への配慮やあいさつ運動など今後もがんばりたいという学校の姿勢がよく表れている。 全国学力・学習状況調査や学力テストの結果が全国平均を下回るのが気になる。さらに、学力テストと単元テストの結果の相違についても、きちんと分析して児童や保護者に伝えて、学力向上に取り組むべきではないか。</p>
-----------------	--

学校関係者評価 を受けての対応	<p>学校関係者評価を受けての考察</p> <p>学校自己評価を見ていただいて、学校は概ね全体的によく努力していると評価していただいたことは、来年度への大きな励みとなった。昨年度まで、学校外には傾向程度しか開示していなかった学力調査並びに学力テストの平均値を数字で示せたことは前進であった。単元テストの結果と全国学力・学習状況調査や学力テストの結果との相違を分析し、日頃の学習の成果を学力として定着させる方策に取り組むよう指摘いただいたことはよかった。</p> <p>学校の教育活動を観察する機会の少ない学校関係者評価委員の方に学校自己評価を評価していただくことは簡単ではなかった。評価していただきやすいよう、評価書項目の絞り込みや評価基準の客観性、判断基準を選ぶ根拠となるデータの準備等を修正していく必要性を感じた。</p> <p>評価委員に事前に評価書を配付しておき、見ておいていただく方法も考えたが、結局多忙のため見る暇はなかったのではと感じた。今年度は、最初で目新しかったが、今後毎年この評価を継続していくこととどれほどの意味を評価委員に感じていただけるか疑問。</p> <p>学校関係者評価を受けての対応</p> <p>教育活動について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全体的に概ねよい評価をいただいたので、来年度の中心となる学校経営及び教育課程の方向性は、改善を加えながらの継続的な取り組みとする。 ・学力の定着に係る取り組みが必要。特に、国語と算数の単元テストの結果とアセスメントテストの結果が連動するような取り組みを工夫する。 <p>学校評価について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年度当初から評価領域及び評価項目を意識していただけるよう評価書項目の絞り込みを進め、中間評価も実施したい。 ・評価基準の客観性の指摘もあったので、特に判断データが学校自己評価に係る評価項目については、評価基準の統一を図りたい。 ・判断基準を選ぶ根拠となるデータについても、評価委員が適切な自己評価になっているかどうかを判断しやすい形を工夫したい。
--------------------	--